

科目名	インターンシップ				英文表記	Internship	平成2月28日			
科目コード	4101									
教員名: 4年学科担任, 副担任 技術職員名:							作成			
対象学科／専攻コース					学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
機械システム工学科					4年	必	履修	3単位	実習	通年
科目目標	学習意欲と職業意識の向上を図り, 実社会で必要な素養・能力・価値観を自覚させる。									
総合評価	インターンシップ先企業からの評価書、各学生の製作するインターンシップ報告書およびインターンシップ報告発表を各10 点満点で評価し、評価書40%・報告書40%・発表20%として、合計点が60%以上で合と評価する。									
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)					達成度目標の評価方法			目標割合	
	①	仕事の本質を理解し、手順など論理的な思考が実践できる。(A-1)				⇒	企業からの評価で達成度を評価する			40%
	②	社会の動向や企業での環境対応について理解できる。(C-1)				⇒	企業からの評価で達成度を評価する			30%
	③	企業活動が社会環境にどのように影響しているかを理解し、その責務の重要性を理解できる。(C-2)				⇒	企業からの評価で達成度を評価する			30%
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称		機械システム工学			
			○	◎	JABEEプログラム教育目標		A-1, C-1, C-2			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合										
		目標との関連		定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック	
評価項目				0	0	50	50	100		
基礎的理解		①②③				20		20		
応用力(実践・専門・融合)		①②③				20		20		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)		①②③					40	40		
主体的・継続的学修意欲		①②③				10	10	20		
授業概要、方針、履修上の注意	学校教育と就業体験の結合により, 学習効果および学習意欲の向上を図り, 高い職業意識を育成し, 自主性・独創性のある人材の育成を目指す。各種企業・官公庁等での実習(体験)により, 修得した専門知識や技術に裏打ちや実社会で必要な素養・能力・価値観の必要性を体験・自覚させ, 実社会の生きた知識を身につけさせる。 受け入れ先企業の中での体験学習であるため, 服装やマナーに関しては十分な注意が必要である。企業によってインターンシップ日数に違いがあるため, 実時間が80時間に満たない場合は、事前・事後の企業研究等を課すことによって時間を満たす。									
教科書・教材	教員製作資料									

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
	ガイダンス	5	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンスを行う。インターンシップ先の企業研究を行う		
期末	期末試験				
期末	インターンシップ	80	夏休み中に実施する		
	成果報告会	5	インターンシップ報告発表資料の作成と報告会を行う。		
	期末試験				
学習時間合計		90	実時間	67.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	インターンシップ先事前調査、志望動機、エントリーシートの作成			各2時間×30回	
②	インターンシップ報告会資料作成			各5時間×2回	
③					
備考欄					
・ この科目はJABEE対応科目である。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分＝1、90分＝2)